

広島市植物公園 見どころ案内

大雨の影響で屋外の一部に足元が悪くなっているところ
がありますので、部分的に立入りを制限しています。

展示会のご案内

- ◇展示資料館 (7/31~8/31)
特別企画展
「ミツバチと花の“おいしい”関係展」
- ◇展示温室 (8/21~8/29)
変化朝顔展

アドロミスクス 神想曲 (ベンケイソウ科)

南アフリカ原産の多肉植物。へら状の肉厚な葉と茎を覆う茶色の気根が特徴です。

ディモルフォルキス・ローウィイ (ラン科)

1本の花茎に黄色と赤の2種類の花が咲く不思議なランが開花中です。

ニオイサントンカ

(アカネ科)

熱帯地域原産(ミャンマー~マダガスカル)。熱帯の花では珍しく、爽やかな香りです。

サガリバナ

(サガリバナ科)

夜間開園の目玉植物。花は夜に咲き、翌朝には落花します(曇天時には翌日の開園後[9時~]まで花を観賞できます)。

イワタバコ科の植物

大温室ロビーでは、セントポーリアやストレプトカーパスなどを鉢で展示しています。省スペースで多彩な花を楽しめるので、室内園芸におすすめの植物です。

ミソハギ (ミソハギ科)

東アジア(日本・朝鮮・中国)原産。お盆に先祖の霊を迎える「精霊盆」に、水に濡らしたミソハギの枝のしずくで禊(みそぎ)をしたことから、禊萩(ミソハギ)の和名が付けられました。

ニクイロシュクシャ

(ショウガ科)

インド原産。肉色(薄いオレンジ色)の香りのある花が咲いています。

ヒマワリの丘

一面に咲いているヒマワリが夏を彩ります。植えてあるのは'サンフィニティ'という多花性の品種。開花は終盤です。

ツキミソウ (アカバナ科)

夜に白花を咲かせます。翌朝には花色が赤く変化してしばみです。まるで酔人の赤ら顔のようです。

